作成日：２００６年１１月０１日
改訂日：２０１０年１２月１５日

製品安全データシート（ＭＳＤＳ）

１.製品及び会社情報

製 品 名　：**トゥインクル・コッパー**
会 社 名　：ディバーシー株式会社
住　　所　：神奈川県横浜市中区山下町２２番地　山下町ＳＳＫビル／〒２３１－００２３
担当部門　：カスタマーテクニカルセンター
　　電話番号：０４５－６４０－２２２２／ＦＡＸ番号：０４５－６４０－２２１６
緊急連絡先：お客様ご相談窓口／電話番号：０４５－６４０－２２８０
製品説明　：業務用　銅・真鍮食器専用洗浄ツヤ出し保護剤
整理番号　：１６３７１

２．危険有害性の要約

本製品の危険有害性の要約

最重要危険有害性

人の健康に対する有害な影響

- 皮膚に触れた場合、弱い刺激がある。
- 目に対して弱い刺激がある。入ったままに放置すると炎症を起こす。
- 飲み込んだ場合の有害性は少ない。
- 塩素系の製品と反応して発生した塩素ガスが目や皮膚に接触すると炎症を起こす。また、吸入すると呼吸困難となり、多量に吸入した場合は生命にかかわる。

環境への影響

- データなし

物理的及び化学的危険性

- 爆発性、引火性はないが、密閉容器内でステンレス以外の金属と反応し水素ガスが発生した場合は、引火、爆発の危険性がある。
- 酸性物質であるため、アルカリ性物質と反応し中和熱を発生する。
- 塩素系の製品と反応し有害な塩素ガスを発生する。

国内法及び認証規約の要約

労働安全衛生法／通知対象物　：該当する
　／第３１２号 シリカ(結晶質ー石英　２５－３５％
　／第３１２号 シリカ（非結晶質）　１－１０％

・環境ホルモン疑義物質
環境省「内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質（６５物質）」を使用していない。

・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
(化学物質把握管理促進法/ＰＲＴＲ法)対応
該当しない。

本製品のＧＨＳ分類

データなし

ラベル要素	
絵表示又はシンボル	データなし
注意喚起語	データなし
危険有害性情報	データなし
注意書き	データなし

労働安全衛生法通知対象物の有害性の要約

労働安全衛生法　通知対象物質　第３１２　非結晶質シリカ

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性　特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露区分1(呼吸器系)

ラベル要素
絵表示又はシンボル：

注意喚起語：	警告
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ
注意書き	【安全対策】 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 粉じんの吸入を避けること。 【応急措置】 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し､呼吸しやすい姿勢で休息させること。 【保管】 施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物又は容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

労働安全衛生法　通知対象物質　第３１２　シリカ（結晶質－石英）

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分1(呼吸器系、腎臓)
	吸引呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素
絵表示又はシンボル：

注意喚起語：	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ 呼吸器系の障害 長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
注意書き	【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 【応急措置】 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 【保管】 施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	：	混合物
成分	：	研磨材／珪酸系鉱物 非イオン性界面活性剤（高級アルコール系） 染料 香料 その他 水

４．応急措置

吸入した場合	：	万一有害な塩素ガスを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所に移動して安静にし、直ちに医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合	：	直ちに多量の水で充分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水で充分に洗い流す。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。
目に入った場合	：	直ちに流水で１５分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	：	直ちに水で口の中を洗浄し、コップ１～２杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。
その他	：	使用中、目に異状を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする。その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または製品安全データシートを持参する。

５．火災時の措置

消火剤	：	水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。
消火方法	：	本製品は不燃物であるが、周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す。移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	：	消火作業では保護具を着用する。

６．漏出時の措置

陸上の場合	：	煉り状製品であるため多量流出のおそれはないが、中身を落下させた場合はウェス等で床をよく拭き上げ、十分に水洗いする等により、床上に残留させない。
雨水溝、河川、海上の場合	：	本製品は、水溶性なので処理できないため、河川、湖沼等公共水域への排出は絶対に避ける。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い ：
- 皮膚や眼、口などに付着しないように注意する。
- 使用後は流水で充分にすすぐ。
- 乾燥すると粉状になり飛散しやすいので、吸引したり作業環境を汚染しないよう注意する。
- 他の薬剤・洗浄剤などとは絶対に混ぜない。
- 食品に混ざらないようにする。
- 使用したスポンジは流水でよくすすぐ。
- 用途以外に使用しない。

保管 ：
- 使用した後は小箱に入れ、冷暗所に保管する。
- 食材とは別に保存する。
- 直射日光、４０℃以上、多湿および凍結の恐れのある場所を避けて密閉して保管する。
- 塩素系漂白剤と同じ場所に保管しない。
- 子供の手の届かないところに保管する。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策	：	取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度	：	設定されていない。
許容濃度	：	設定されていない。
保護具	：	
呼吸器用の保護具	；	不要
手の保護具	；	ゴム手袋の着用を勧める。
目の保護具	；	不要
皮膚及び身体の保護具	；	エプロン等の着用。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態

形状、色	：	黄色煉り状
臭い	：	レモン香料臭
溶解度	：	水に完全に溶解しない。研磨成分は、水に溶解しない。
ｐＨ	：	３．６（０．２%水溶液、代表値）
沸点	：	約１００℃
比重	：	１．３０（４２℃、代表値）
融点・凝固点	：	約０℃
引火点	：	なし（不燃物）
不揮発分	：	２０．８%(代表値)
燃焼又は爆発範囲	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
蒸気密度	：	データなし
水分配係数	：	データなし
自然発火温度	：	データなし
分解温度	：	データなし

１０．安定性及び反応性

安定性	：	通常の取扱い条件（屋内、常温）においては安定である。
反応性	：	・ 塩素系の製品と反応し塩素ガスを発生する。 ・ アルカリ性物質と反応し中和熱を発生する。
避けるべき条件	：	塩素系の製品およびアルカリ性物質との接触、直射日光、４０℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
避けるべき材料	：	プラスチック製品、漆器、木製品、ホウロウ、七宝製品、メッキ部分など
危険有害な分解生成物	：	塩素系の製品との反応により発生する塩素ガス

１１．有害性情報（ヒトについての症例、疫学的情報を含む）

本製品の有害性情報

急性毒性	：	経口　ＬＤ５０	＞１７４００ｍｇ／ｋｇ
		経皮　ＬＤ５０	データなし
		吸入　ＬＣ５０（１時間）	データなし
		吸入　ＬＣ５０（４時間）	データなし

局所効果　：　吸入した場合
・ 塩素系の製品と反応して発生した塩素ガスを吸入すると呼吸困難となる。
皮膚に触れた場合
・ 弱い刺激作用がある。
目に入った場合
・ 弱い刺激性がある。入ったまま放置すると炎症を起こす。
飲み込んだ場合
・ 有害性は少ない。

感作性　：　データなし
慢性毒性　：　データなし
長期毒性　：　データなし

労働安全衛生法通知対象物質の有害性情報

労働安全衛生法　通知対象物質　第３１２　非結晶質シリカ
急性毒性　経口 rat LD50 3,160mg/kg
急性毒性　吸入 rat LCLo 2,190mg/kg
発がん性　IARC 3（ヒトに対する発がん性は分類できない）

労働安全衛生法　通知対象物質　第３１２　シリカ（結晶質－石英）

急性毒性：	：	経口：分類に適したデータが見つからず、データ不足のため分類できない。 経皮：データなし 吸入（粉じん）：データなし
皮膚腐食性・刺激性	：	データなし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：	眼刺激性を示す記載があるが、裏付けとなるデータが見つからず、データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	呼吸器感作性：データなし

生殖細胞変異原性	：	*in vivo* 変異原性のマウスの骨髄小核試験が陰性であったことから、区分外とした。なお、OECDガイドラインにはない特殊な*in vivo* 試験系(気管内投与されたラットの肺上皮細胞におけるhprt変異の測定)において突然変異陽性を示す(炎症作用による可能性あり)など、「試験結果が相反しており、遺伝毒性の評価はまだ確定していない」とされている。また、*in vitro* 変異原性においては、Ames試験のデータはなく、染色体異常試験で陰性、小核試験で陽性の知見がある。
発がん性	：	IARC68(1997)は1、NTPはK、産衛学会勧告は1に分類しており、区分1Aとした。 発がんのおそれ IARC グループ1（ヒトに対して発がん性がある）
生殖毒性	：	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	：	反復ばく露に比べるとデータが大幅に少ないが、ヒトにおいて短期ばく露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすとの記述がある。IARCはPriority 1文書であるため、区分1(呼吸器系)とした。 呼吸器系の障害
特定標的臓器・全身毒性	：	Priority 1文書に、ヒトにおいて呼吸器系、腎臓に影響を及ぼすとの記述があり 、区分1(呼吸器系、腎臓)とした。 長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
吸引性呼吸器有害性	：	データなし

１２．環境影響情報

移動性	：	データなし
残留性、分解性	：	データなし
生体蓄積性	：	データなし
生態毒性	：	データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	：	事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 本製品はそのままの状態では廃棄しないこと。正規に焼却または埋め立て処分をすること。
汚染容器、包装	：	使い終わった容器は、内容物の有無を確認した上で水でよく洗ってから処理する。

１４．輸送上の注意

国内法規制 ： 特になし。

輸送の特定の安全対策及び条件

- 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。
- 荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
- 塩素系の製品と接触すると有害な塩素ガスが発生するので、積載にあたっては塩素系の製品との混載は避ける。
- 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 直射日光、４０℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態での輸送は避ける。
- 水濡れを避ける。

１５．適用法令

毒物及び劇物取締法　：該当しない
化学物質管理促進法(ＰＲＴＲ法)　：該当しない
労働安全衛生法／通知対象物　：該当する
／第３１２号 シリカ(結晶質ー石英　２５－３５％
／第３１２号 シリカ（非結晶質）　１－１０％
表示物質　：該当しない
有機則　：該当しない
特化則　：該当しない
消防法　：該当しない
危険物船舶輸送及び貯蔵規則　：該当しない

１６．その他の情報

問い合わせ先　：ディバーシー株式会社
カスタマーテクニカルセンター
電話番号：０４５－６４０－２２２２／ＦＡＸ番号：０４５－６４０－２２１６

改訂の記録　：作成　；　２００６年１１月０１日
改訂　；　２００８年０４月０１日
２００９年０９月２４日
２０１０年０４月０１日（社名変更）
２０１０年１２月１５日（JIS Z 7250：2005の書式へ変更）

引用文献　：
・製品安全データシートの作成指針(改訂版)
[(社)日本化学工業協会(平成１３年１０月)]
・ＪＩＳ Ｚ ７２５０：2005／化学物質等安全データシート（ＭＳＤＳ）
・労働安全衛生関係法令集［労務行政研究所］
・１３９０１の化学商品［化学工業日報社］
・化学品安全管理データブック［化学工業日報社］
・公害防止の技術と法規（水質編）［（社）産業公害防止協会］
・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進の進め方
[(財)日本規格協会]
・化学物質安全情報提供システム
・ＲＴＥＣＳ（２００２ＮＩＯＳＨ）
・結晶質－石英　ＭＳＤＳ　［安全衛生情報センター］

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上